



©T. ZYDATISS



©Sammy Hart

2024年 **3/11**(月)19時

東京オペラシティ コンサートホール

Monday, March 11, 2024 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

モーツァルト: 交響曲第40番 ト短調 K. 550

Mozart: Symphony No. 40 in G minor, K. 550

藤倉大: **Bridging Realms for fortepiano**

(第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクール委嘱作品/日本初演)

Fujikura: Bridging Realms for fortepiano

commissioned by NIFC for the 2nd International Chopin Competition on period instruments (Japan Premiere)

ピアノ: 川口 成彦 Naruhiko Kawaguchi, *Piano*

ショパン: ポーランドの歌による幻想曲 **op. 13**

Chopin: The Fantasy on Polish Airs in A major, op. 13

ピアノ: 川口 成彦 Naruhiko Kawaguchi, *Piano*

ショパン: 演奏会用ロンド「クラコヴィアク」 **op. 14**

Chopin: Rondo à la Krakowiak in F major, op. 14

ピアノ: トマシュ・リツテル Tomasz Ritter, *Piano*

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 **op. 11**

Chopin: Piano Concerto No. 1 in E minor, op. 11

ピアノ: ユリアンナ・アヴデーエフ Yulianna Avdeeva, *Piano*

“2つのショパン国際コンクール”優勝ピアニストと
川口成彦による

The **Real Chopin**

The Real Chopin × 18世紀オーケストラ

The **Orchestra** of the **18th Century**

in memoriam Frans Brüggen

～フランス・ブリュッヘンの思い出に～

ピリオド楽器により、ショパンのピアノ+管弦楽作品全曲を2晩で演奏

in
Japan
2024



©SimonVanBoxtel

3/12(火)19時

東京オペラシティ コンサートホール

Tuesday, March 12, 2024 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

モーツァルト: 交響曲第35番 二長調 K. 385 「ハフナー」

Mozart: Symphony No. 35 in D major, K. 385 "Haffner"

ショパン: 《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」による変奏曲
変ロ長調 **op. 2**

Chopin: Variations on "Là ci darem la mano" in B-flat major, op. 2

ピアノ: 川口 成彦 Naruhiko Kawaguchi, *Piano*

ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ **op. 22**

Chopin: Andante Spianato and Grande Polonaise Brillante, op. 22

ピアノ: ユリアンナ・アヴデーエフ Yulianna Avdeeva, *Piano*

ショパン: ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 **op. 21**

Chopin: Piano Concerto No. 2 in F minor, op. 21

ピアノ: トマシュ・リツテル Tomasz Ritter, *Piano*

2公演セット券: S¥30,000 A¥24,000

1回券: S¥16,000 A¥13,000 B¥10,000 C¥8,000 D¥6,000

主催: KAJIMOTO

監修: スタニスワフ・レシチンスキ(国立ショパン研究所NIFC)

supervised by Stanislaw Leszczynski (The Fryderyk Chopin Institute)

後援: オランダ王国大使館



Kingdom of the Netherlands / エマプロジェクト株式会社

協力: 岩波書店 / タカギクラヴィア株式会社 / 東京エムプラス

使用ピアノ: Pleyel 1843 owned by Takagiklavier (3/11)
Pleyel 1845 owned by Emma Akiyama (3/12)

KAJIMOTO

精鋭たちが弾くピリオド楽器によるショパン——そしてその先に見えるもの

「The Real Chopin」とは、ワルシャワの国立ショパン研究所(NIFC)レシチンスキ副所長の監修のもとでショパンのピアノ全作品をピリオド楽器で録音し、2010年にリリースされた21枚組のCDに付けた名前であり、今回の公演ではこの中からピアノと管弦楽のための全6曲をコンサートで再現する。

演奏は2010年ショパン国際コンクール優勝のY.アヴデーエワ、そして2018年ショパン国際ピリオド楽器コンクール第1位のT.リッテルと第2位の川口成彦がそれぞれ2曲ずつ分担し、使用する楽器は1843年製と45年製のプレイエル。3人が慎重に試弾して選んだ名器である。

共演するオーケストラは長年「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭に招かれ、ピリオド楽器によるショパン演奏に関わってきた18世紀オーケストラ。この楽団の創設者F.ブリュッヘンはショパンを愛し、コンビ最後の日本ツアー(2013年)の中、一晚でショパンのピアノ協奏曲2曲をアヴデーエワと共演したことは憶えている方も多だろう。ブリュッヘンは2014年に亡くなったが、18世紀オーケストラはNIFCとの共同作業が続き、2018年9月の「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」の本選会ではファイナリストたちとショパンの協奏曲を共演している。コロナ禍を経てようやく実現した今回の日本ツアーでは、ブリュッヘンを偲んで指揮者を置かず、ショパンの前にはブリュッヘンが結成以来楽団と培ってきたモーツァルトの交響曲を演奏する。

ところでNIFCは、2018年のコンクールのオープニングのため、ポーランドの現代作曲家P.シマヌスキに18世紀オーケストラのための新曲を委嘱している。そして2023年の同公演には藤倉大にフォルテピアノのための独奏曲を委嘱、それは10月5日に川口成彦によって世界初演され、続いてこの日本ツアーで日本初演される。

ショパンが自ら弾き、自ら聴いたピリオド楽器から現代作曲家が新しい何かを引き出す。「ピリオド楽器はコンテンポラリーか?」という問いにつながる可能性が、現在と未来に広がっている。

佐藤 正治(KAJIMOTOプロジェクト・アドバイザー)

18世紀オーケストラ The Orchestra of the 18th Century



©Annelies van der Vegt

1981年にブリュッヘンとその友人らによって結成された。世界20カ国以上から55名の演奏家たちが集まり、メンバーたちは全員、18世紀および19世紀初期の音楽を専門とする優れた古楽器もしくは復元楽器の奏者である。バッハ、ラモールからモーツァルト、ベートーヴェン、ショパンに至る幅広いレパートリーを誇り、これらの演奏はフィリップスやグロッサなどのレーベルに録音されている。

2014年ブリュッヘンの死により、両者の親密なコラボレーションは終わりを迎えたが、彼の精神は受け継がれ、それは今後もオーケストラを導いていく。現在は、客演ソリストや客演指揮者を迎えて年に5つのプロジェクトを行っている。

2005年にワルシャワでスタートした「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭に招かれ、その後もレジデントオーケストラとして、ショパンのピアノと管弦楽のための作品を演奏。アヴデーエワとはショパンのピアノ協奏曲2曲をコンサートとレコーディングで共演し、2018年の第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールでは、1位と2位を受賞したリッテルと川口成彦の本選で共演した。

川口 成彦(ピアノ)

Naruhiko Kawaguchi, *Piano*



©Juan José Molero Ramos

1989年生まれ。小倉貴久子、リチャード・エガールの各氏に師事し、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭を

はじめとした音楽祭に出演している。18世紀オーケストラと共演し、コンサートホールのメンバーとは室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルを開いた。第46回日本ショパン協会賞受賞。第31回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

トマシュ・リッテル(ピアノ)

Tomasz Ritter, *Piano*



©W. Grzedzinski

1995年ポーランド生まれ。モスクワ音楽院に留学し、リュビモフやシェフチェンコに学び、数々のコンクールの優勝や入賞を経て、2018年にワルシャワで開催された第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールで優勝。

シュタイヤーやビルソンとも交流。ポーランドはもとより海外の音楽祭に参加し、ポーランド放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、18世紀オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパン、プラハのマルティヌー・カルテットやチューリヒのストラディヴァリウス・カルテットと共演している。

ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)

Yulianna Avdeeva, *Piano*



2010年のショパン国際コンクールで優勝。燃えるようなテンパメントと卓越したテクニックを持ち、力強く、確信をもって自信に満ちた演奏は、世界中の聴衆を魅了している。2022/23年シーズンはクルレンツィス

指揮南西ドイツ放送響との共演や、カーネギーホールでリサイタル・デビューを行う。18世紀オーケストラとはピリオド楽器でショパンの協奏曲2曲の演奏・録音も、最近力を注ぐヴァインベルク作品を含むCDを含め、すべての録音はアヴデーエワの芸術性の頂点を収めた集大成となっている。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 252-439)

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

東京オペラシティチケットセンター(月曜定休) 03-5353-9999

カジモト・イープラス



一般発売:
10/8(日)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/29(金)12:00~10/2(月)18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- お車で越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様に安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続き協力をお願い申し上げます。